

笠岡市離島航路改善協議会議事録

1. 開催概要

- 協議名：令和7年度第1回離島航路改善協議会
- 開催日時：2026/2/19 10:00-10:39
- 開催場所：笠岡市役所 第2会議室
- 協議者：委員10名

2. あいさつ(要旨)

笠岡諸島の航路は島民の生活を支える重要な交通手段である。燃料高騰、船員不足、人口減少などの課題が深刻化する中、関係機関の助言や島民の意見を踏まえ、持続可能な航路のあり方を検討していく旨が述べられた。

3. 協議事項と主な内容

(1) 離島航路改善計画の策定、今後のスケジュール

旅客人員の減少(人口減少、学校の休校等の影響を含む)により収益が悪化していることに加え、燃料費・人件費の高騰、船舶の修繕費増加等により費用が増加し、航路事業の経営環境が厳しさを増していることが共有された。現状のままでは事業者の負担が継続的に増加し、将来の安定運航に影響する可能性があることが確認された。

国庫補助制度については、「唯一航路」であること等が要件であり、白石島・北木島は他にフェリー航路があるため「唯一航路」とみなされず、該当区間に係る費用が補助対象外となっていることが説明された。補助で賄われない負担が継続している現状を踏まえ、会計の専門家等の助言も得ながら、経営面・運航面の調査を行い、離島航路改善計画の策定を進める方針が示された。

(2) 質疑・意見(要旨)

- Q1：市が補助を行う場合、残りの負担について県が補助する考えはあるか。
- A1：国庫補助航路の要件を満たさない部分については、県として補助を行う判断に

は至っていない。今後の必要な支援については検討していく。

- Q2: 国庫補助の仕組みが資料だけでは分かりにくい。分かりやすい説明は可能か。
- A2: 今回は現状説明を行った。今後、会計の専門家にも確認を行う予定であり、計画策定の過程で補助制度等を分かりやすく整理した資料を作成し、協議会で説明する。
- Q3: 航路統合等も含めて検討しているのか。
- A3: 現時点で航路統合の可否を断定することはできない。ダイヤや便数を含めた分析を行い、航路を維持するために何が必要か検討していく。
- 人口減少が進む中、根本的な対応を含めた検討が必要である。
- 高齢化が進む中でダイヤは生活に直結しており、通院・買い物等の利用実態に配慮した検討が必要である。
- 計画策定にあたっては、ダイヤや時間帯等について島民の意見も汲んだ上で最善策を検討してほしい。

(3) 令和 8 年度予算(案)

- 離島航路改善計画の策定に関する予算(案)及び国庫補助申請の方針について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4. 今後の予定

- 2026 年度当初に、計画策定に係る事業者選定(プロポーザル)を実施予定。
- 事業者決定後、経営診断・航路診断等の調査を実施し、その結果を踏まえて離島航路改善計画を策定予定。
- 次回の協議会は 2026 年度に開催予定であり、事業者決定後に開催案内を行う。